

北海道大農 ○山東せつ子

目的 高校家庭科の男女共修議論が沸騰する現在我国の世論の中で本質的に共修を是としても、現在の教科内容に対する批判は強い。演者は男女共修を基礎とした高校家庭科教育の内容を考えるため本研究を始めた。今の家庭科でとり上げられる内容がなぜ必要なのかを生徒に納得させる基本的姿勢を考えることは重要である。この問題解決にむけて一つのアイデアを提供するものとして、アメリカの1高校教科書の一部を紹介したい。

方法 用いた教科書は McDERMOTT et al.: *HOMEMAKING FOR TEEN-AGERS. BOOK II A Consumer Education Text*, 3rd ed. 1972. である。本発表は主として SECTION ONE, Your Place in Life に限られる。

結果 成人期を前にした高校生に自分の心の中をのぞかせるような問いかけで始まる。一個の人間として、自分は今人生のどこに居るのか？ 自分とは何者か？ 将来どうなりたいか？ 自分は自分を取りまく社会の中でどう生きながら自分の夢を実現したらよいのか？ を考えさせるため、第1章は5節に分れている。「あなた自身を知れ」、「あなたとその家族」、「あなたとその友達」、「結婚とあなた自身の家」、および「あなたとその仕事」である。結論から言うと、「人生に対する姿勢は、人間として成熟する努力である」という論旨を、具体的な日常問題を糸口として平易な文で述べている。性格など内的な難しい問題も扱い、家族との摩擦、交友関係、結婚の心がまえ、若い夫婦の陥りやすい家庭崩壊に至る要因、就職活動、職業人として成功する心構え、などが高校生に理解できる範囲でまとめられ、性差をこえて、一度は考える必要のある内容を含み、他教科では代替できない重要な分野であることを示す。第2章以下に育児、経済、衣、住、食、等が続く。